

教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
(平成21年度実績)

平成22年8月

当別町教育委員会

目 次

第1章 点検及び評価の概要	
1 点検及び評価の主旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の内容	1
4 点検及び評価の公表	2
第2章 教育委員会の活動状況	
1 教育委員会会議の開催状況	3
（1）会議の開催状況	3
（2）会議の審議案件	3
2 教育委員会会議以外の主な活動状況	8
第3章 教育行政施策の点検及び評価	
1 学校教育の推進	
（1）幼稚園教育の推進	
1 小学校との交流及び教育相談機能の充実	9
2 民営化による認定こども園設置に向けた取組	10
（2）小・中学校教育の推進	
①確かな学力・体力の向上について	
1 全国学力・学習状況調査等の分析と改善方策の検討	11
2 英会話指導助手配置事業の拡充	12
3 教職員研修の充実	13
②豊かな心の育成について	
1 ボランティア体験及び職場体験事業の充実	14
2 食育指導の充実	15
3 地域と結びついた地場産食材の活用	16
4 児童生徒の実態把握と指導体制及び相談体制の充実	17
5 家庭学習の習慣化と規律ある生活習慣の確立に向けた指導の充実	18
③開かれた学校の推進と教育活動の改善について	
1 学校経営に関する自己評価・学校関係者評価の充実	19
2 学校だより・ホームページの充実	20
3 小中連携の充実	21
4 特別支援教育における支援・連携体制の充実	22
5 地域人材の活用による学校支援の充実	23

④教育環境・施設整備の充実について	
1 安全点検や安全確保の取組	24
2 小・中学校の耐震化に向けた取組	25
3 スクールバス運行の拡充と一般混乗の試験運行の実施	26
2 社会教育の推進	
(1) 家庭と地域の教育力の向上について	
1 家庭教育関係事業の拡充	27
2 「早寝早起き朝ごはん」運動の取組	28
3 学校支援地域本部事業の推進	29
4 町民自主企画講座や当別学講座の開催	30
5 人材バンク登録の拡大と出前講座「とうべつ知恵袋」の活用促進	31
(2) 青少年教育の推進について	
1 青少年健全育成のための情報共有と各機関との連携強化	32
2 ネット巡回の強化	33
3 地域との連携による青少年教育の推進	34
(3) 文化・芸術活動の推進について	
1 子ども読書活動の推進と図書室の利用促進	35
2 小学校郷土資料室の設置	36
3 歴史ボランティアガイドの養成と活動支援	37
4 白樺コミュニティーセンターの一部改修の実施	38
5 社会教育施設内における展示スペースの整備	39
(4) スポーツ活動の振興について	
1 体育指導委員との連携によるニュースポーツ紹介事業の推進	40
2 子どもスポーツ事業の実施	41
3 総合型地域スポーツクラブ設立に向けた支援	42
4 当別小学校水泳プール改修工事の実施	43
第4章 学識経験者による意見	44

<資料>

1 教育委員会委員名簿	51
2 平成21年度教育予算編成の概要	52
3 平成21年度教育予算及び決算状況	55

第1章 点検及び評価の概要

1 点検及び評価の趣旨

平成18年12月の教育基本法の改正と平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が平成19年6月に改正され、平成20年4月から施行されました。

この地教行法の改正により、「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、教育委員会は、「毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない」こととされました。

このため、当別町教育委員会としても、毎年、重点施策の取組の状況について点検及び評価を行い、成果や課題、今後の方向等を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていこうとするものです。

2 点検及び評価の対象

教育委員会の事業は年度単位で執行されているため、教育委員会の点検及び評価は次年度に入ってから行うこととします。

当別町教育委員会では例年3月議会定例会において「教育行政執行方針」を教育長が表明していますが、平成21年度は当別町長選挙の年であったため「教育予算編成の概要」として表明しています。そのため、本年度の点検及び評価は、前年度である平成21年度の事業実績を対象とし、「平成21年度教育予算編成の概要」の「教育行政施策と予算編成の概要」に位置付けされた施策・事業等を対象事業として選定しました。

3 点検及び評価の内容

教育委員会会議の開催状況、審議案件など教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、施策・事業等の点検・評価については、個別に取組状況を点検し、成果と課題を踏まえ今後に向けた方向性を明らかにしています。

また、教育委員会の活動状況や施策・事業等の点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に反映させるため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

4 点検及び評価の公表

点検及び評価の結果をまとめた報告書を当別町議会に提出するとともに、町民に広く公表します。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び当別町教育委員会会議規則に基づき、教育長を含む5人の委員が主要な教育施策の策定、変更及び実施に関すること、教育委員会規則等の制定、教育に関する様々な課題について審議しています。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案説明や報告事項などについて説明が行われた後、委員の慎重な審議を経て、決定、了解、承認されてきたところです。

さらに、会議以外においては、現場の状況を把握したうえでの審議が行われるよう、学校や教育関係施設の視察、各種行事への参加を行っています。

今日の教育を取り巻く課題は、複雑・多様化しており、今後においても諸課題等に対応した施策の推進に向けて、引き続き十分な審議を行い、地域教育の更なる充実のため、町民の積極的な参画と協働の下、多様で質の高い教育行政を積極的に推進していく必要があります。

(1) 会議の開催状況

教育委員会会議については、当別町教育委員会会議規則第4条第1項の規定に基づき毎月定例会を開催し、また、同条第2項の規定に基づき必要に応じ臨時会を開催しています。

平成21年度については、下記のとおり合計16回の会議が開催されたところです。

また、会議以外に事務局との学習会も随時実施しています。

- ① 定例会 12回（毎月）
- ② 臨時会 4回（7月、10月、3月×2回）

(2) 会議の審議案件

教育委員会会議での審議事項については、当別町教育委員会事務委任規則第1条の規定に基づき、下記の83件について審議したところです。

また、同規則に規定されていない事務局報告事項108件について、それぞれ質疑応答を行っています。

- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項
 ・議決案件 45件 ・協議案件 16件 ・報告案件 22件
- ② 事務局報告事項 108件
- ③ 付議案件一覧

日 程	付 議 案 件
21. 4. 23	(議案) <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1地区教科用図書採択委員会協議会参加の承認について ・ 第1地区教科用図書採択委員会協議会への委員の選出について ・ 当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について ・ 当別町就学指導委員会規則の一部を改正する規則制定について ・ 当別町社会教育委員の委嘱について ・ 当別町学校評議員の委嘱について ・ 当別町就学指導委員会委員の解職について ・ 当別町就学指導委員会委員の委嘱について ・ 当別町特別支援教育推進サポート組織の委員の解職について ・ 当別町特別支援教育推進サポート組織の委員の委嘱について ・ 当別町学校給食センター運営委員会委員の解職について ・ 当別町学校給食センター運営委員会補欠委員の委嘱について
21. 5. 26	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校職員の死亡報告内申について ・ 補助教職員臨時的任用内申について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・ 当別町立幼稚園就園奨励費補助金交付に関する規則の一部を改正する規則制定について ・ 当別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する訓令制定について ・ 当別町少年指導センター少年指導委員の委嘱について ・ 当別町少年指導センター青少年健全育成協議委員の委嘱について (協議) <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年度教育費(6月)補正予算について

21. 6. 17	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度教育費(6月)補正予算について 平成21年6月期における勤勉手当の成績区分の内申について 平成20年度当別町学校給食費会計収支決算について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当別町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について
21. 7. 15	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務主幹の発令について 第1地区教科用図書調査研究委員の委嘱について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
21. 7. 31 (臨時会)	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度使用教科用図書の採択について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度教育費(8月)補正予算について
21. 8. 19	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度教育費(8月)補正予算について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校職員解職発令内申について 補助教職員臨時的任用内申について 補助教職員臨時的任用内申について 当別町少年指導センター少年指導委員の委嘱について 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度教育費(9月)補正予算について 認定こども園への変更について
21. 9. 25	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当別町教育委員会委員の任命について 平成21年度教育費(9月)補正予算について 全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
21. 10. 1 (臨時会)	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育長の任命について

21.10.23	(報告) ・ 教育財産（当別幼稚園用地）の取得について
21.11.18	(議案) ・ 第1地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の選出について ・ 当別町文化財調査審議会委員の委嘱について (協議) ・ 平成21年度教育費（12月）補正予算について
21.12.22	(報告) ・ 平成21年度教育費（12月）補正予算について ・ 平成21年12月期における勤勉手当の成績区分の内申について (議案) ・ 学校職員の解職発令内申について ・ 当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
22.1.20	(議案) ・ 平成21年度当別町文化賞及び当別町スポーツ賞の受賞者の選考及び決定について (協議) ・ 平成22年度当別町教育行政執行方針について ・ 平成22年度全国学力・学習状況調査の希望利用について ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表に関する取り扱いについて
22.2.17	(議案) ・ 感謝状の授与について ・ 補助教職員臨時的任用内申について ・ 平成22年度当別町教育行政執行方針について ・ 平成21年度当別町スポーツ賞受賞者の成績等の変更について (協議) ・ 平成21年度教育費（3月）補正予算について ・ 平成22年度教育費当初予算について ・ 当別小学校水泳プールの管理及び運営に関する条例制定について ・ 当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について ・ 当別町総合体育館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について ・ 当別町遠距離児童生徒の通学費補助に関する条例の廃止について ・ 当別町青少年問題協議会条例の廃止について

<p>22.3.10 (臨時会)</p>	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の異動について
<p>22.3.18</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年度教育費(3月)補正予算について ・ 平成22年度教育費当初予算について ・ 平成22年度当別町教育行政執行方針について ・ 社会教育施設に係る使用料等の改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定について ・ 当別小学校水泳プールの管理及び運営に関する条例制定について ・ 当別町遠距離児童生徒の通学費補助に関する条例の廃止について ・ 当別町青少年問題協議会条例の廃止について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助教職員臨時的任用内申について ・ 当別町子どもの読書活動推進計画について ・ 当別小学校水泳プールの管理及び運営に関する条例施行規則の制定について ・ 当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・ 当別町総合体育館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・ 当別町遠距離児童生徒の通学費補助に関する規則の廃止について ・ 当別小学校水泳プールの管理運営要綱の廃止について ・ 教職員の異動について
<p>22.3.25 (臨時会)</p>	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校職員採用発令内申について ・ 補助教職員臨時的任用内申について ・ 教育委員会事務局職員の人事異動について

2 教育委員会会議以外の主な活動状況

① 会議等

- ・北海道町村教育委員会連合会役員会
- ・石狩管内教育委員会協議会三役会議、総会
- ・北海道町村教育委員会連合会総会
- ・北海道町村教育委員会連合会文教施策要望
- ・北海道市町村教育委員研修会運営会議
- ・北海道市町村教育委員研修会
- ・石狩管内教育委員会委員研修会及び交流会
- ・市町村教育委員会新任教育委員研修会
- ・校長会主催「教育委員と語る会」
- ・社会教育委員意見交流会
- ・体育指導委員意見交流会

② 学校視察訪問等

- ・当別小学校、当別中学校視察
(支援教育、人材活用、小中連携、給食)
- ・給食センター視察
(調理作業の様子を視察)
- ・伊達記念館視察
(展示物配置換見学)

③ 行事参加状況

- ・幼稚園入園式、修了式
- ・小・中学校入学式、卒業式
- ・当別町青少年善行賞・文化賞・スポーツ賞授与式
- ・当別町表彰式
- ・当別町成人式
- ・当別町少年の意見発表会

④ 当別町議会出席

第3章 教育行政施策の点検及び評価

「平成21年度教育予算編成の概要」に掲げられた学校教育・社会教育の「教育行政施策と予算編成の概要」に基づき、施策・事業の内容と成果について点検・評価を実施しました。

なお、「教育行政施策と予算編成の概要」の内容については、＜資料＞2「平成21年度教育予算編成の概要」を参照下さい。

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (1) 幼稚園教育の推進 1 小学校との交流及び教育相談機能の充実
平成21年度の取組状況
小学校と連携を図る取組及び教育相談を行った。 7月 当別小学校・西当別小学校教諭が園児の活動を参観し、園児の行動や発達状況、小学校入学後の学校生活の情報交流を行った。 10月・2月 幼稚園教諭が園児の就学に向けて情報交流を行った。 2月 幼稚園教諭が小学校の授業を参観した。 随時 保護者及び関係機関との連携による教育相談を行った。
成果・課題等
幼小間の情報交流によって、幼稚園にとっては、園児が小学校生活に素早く適応するための園児指導の重点や配慮事項を把握することができ、園児教育の充実につなげることができた。また、小学校では幼稚園児の事前実態観察を通して、小学校入学直後での配慮事項・準備事項を的確に把握することができ、園児のスムーズな小学校生活実現につなげることができた。 就学時健診や教育相談では、幼小間の情報交流が事前になされたことにより課題に適応した説明ができ、保護者の不安などを和らげることができた。 小学校入学時のつまずきを避けるため、幼稚園・小学校・発達支援センター等の関係機関の情報交流を定期的に行うなどの連携が必要である。
今後の方向性
情報交流の回数を増やし、幼稚園から小学校の連続性を意識した指導を更に進める。 特別支援教育についての幼稚園教諭の研修を更に進め、視覚にうったえる指導や園児一人一人に応じたルールづくりなど、幼稚園教諭の指導力向上を図る。
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (1) 幼稚園教育の推進 2 民営化による認定こども園設置に向けた取組
平成21年度の取組状況
<p>平成20年度に策定した「幼稚園・保育所計画」では、「幼稚園・保育所施設の一体化」としていたが、その後、国・道における認定こども園に係る制度整備や財政支援の充実が図られてきたことから、計画を一部変更し、民営化による「認定こども園」を平成23年4月に設置する方針を固め、各関係機関等と協議を進めた。</p> <p>4月 社会福祉法人「高陽福祉会」による企画提案変更申請 8月 認定こども園への変更について議会説明 10月 民営化に係る対象保護者への周知（教育内容、保育料等） 随 時 北海道学事課幼稚園グループとの協議</p>
成果・課題等
<p>国の認定こども園制度の整備によって、町が本来の目的としていた、「保護者の就労状況に関係なく子どもたちに同一の教育を提供する」ことが可能となった。</p>
今後の方向性
<p>平成23年4月の民営化に向けて福祉部子育て推進課と連携し、法人と詳細にわたって協議しながら、私立幼稚園新設の手続きを進める。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ① 確かな学力・体力の向上について 1 全国学力・学習状況調査等の分析と改善方策の検討
平成21年度の取組状況
<p>全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査に当別町も参加した。</p> <p>学力では、国語、算数（数学）の教科に関する調査と生活習慣や学習環境に関する質問紙調査を分析後、「平成21年度全国学力・学習状況調査報告書～当別町における結果分析～」を作成し、ホームページ等で調査結果の概要等について公表した。</p> <p>体力では、全国・全道・当別町と比較し調査結果を分析した。</p> <p>調査結果を踏まえ、各学校において、「学校改善プラン」等を策定した。</p>
成果・課題等
<p>生活習慣・学習環境等に関しては、規則正しい生活習慣や家庭学習習慣について、学校便りや生徒指導便り、PTA 会議などで家庭への啓発がなされ、児童生徒の家庭学習への関心を高めることできた。</p> <p>ドリルタイムの導入や朝読書の取組などを学校改善プランに盛り込み、具体的対策に取り組むことができた。</p> <p>学力に関しては、当別町全体では基礎的・基本的な知識に関する問題でおおよそ理解しているものの、知識・技能を一層身に付けさせ、また、活用する問題では活用力を一層高めていく必要がある。</p>
今後の方向性
<p>当別町の「全国学力・学習状況調査報告書」や各学校の改善プランに従って、子どもの落ち着いた学校生活、意欲的な学習活動への具体的な取組を進め、学校・家庭・地域の連携を強化しながら、学びの習慣の定着や基礎的・基本的な学力向上を図っていく。</p> <p>体力についても調査結果の分析を生かし、各学校での取組の工夫を図っていく。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ① 確かな学力・体力向上について 2 英会話指導助手配置事業の拡充
平成21年度の取組状況
<p>小学校では国際理解教育の取組として、総合的な学習の時間で英会話指導助手を配置し、前年度の年間6時間から、年間10時間に拡充し、「英語活動」を実施した。</p> <p>また、中学校ではこれまでと同様に、1学級につき年間9時間の英会話指導助手を配置し、英語教育の充実を図った。</p>
成果・課題等
<p>小学校では、早いうちから児童が簡単な英会話を通して外国文化に接することで、英語によるコミュニケーションについての関心を持たせることができた。</p> <p>英会話指導助手の配置時間を拡充したことにより、昨年度より児童を引きつける指導が十分に展開できた。</p> <p>今後、担任などと事前の打ち合わせを進め、計画的な指導体制を整えることが大切である。</p>
今後の方向性
<p>平成23年度から新学習指導要領が全面実施となり、外国語活動を小学校5・6年生に年間35時間指導していくことになるので、教育課程の整備及び指導力の向上を図る。</p> <p>英会話指導助手の派遣計画等の整備を進める。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ① 確かな学力・体力向上について 3 教職員研修の充実
平成21年度の取組状況
<p>教職員で構成されている当別町学校教育研究推進協議会（当教研）の学校課題研究は、弁華別中学校で「確かな学力を身につけて主体的に学ぶ生徒の育成」を研究主題に指導方法の改善について研究発表を行った。</p> <p>また、長期休業期間を利用しての教職員研修は夏期休業の8月4日に「学ぶ楽しさを実感させる授業づくりについて」（42名参加）、冬期は1月12日に「小学校教員外国語活動について」（52名参加）、1月13日に「支え助け合う仲間づくり」をテーマに、ピアサポートの理論と実践について（60名参加）の研修を行った。</p>
成果・課題等
<p>当教研の学校課題研究は、当別ならではの教員の指導力向上の取組であり、授業改善に大きな役割を果たしている。</p> <p>長期休業中に研修会を3回開催し、指導に役立つ研修となったことは大きな成果である。</p> <p>今日的な教育課題に対する研修を行い、今後とも教員の指導技術の向上のため、実践交流を一層充実していくことが大切である。</p>
今後の方向性
<p>当教研の研究指定校への支援や当教研活動全体への援助、また今日的な教育課題に対応した研修会を計画するなど、教員の資質向上を図る。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ② 豊かな心の育成について 1 ボランティア体験及び職場体験事業の充実
平成21年度の取組状況
各小中学校で地域清掃活動、リングプル、ペットボトルキャップの回収、福祉施設訪問など、ボランティア活動の体験を行った。 中学校では、商工会と連携し当別中学校3年生（3日間）が30ヶ所、西当別中学校2年生が33ヶ所、3年生が28ヶ所（各2日間）、弁華別中学校2年生（1日）が6ヶ所の当別町内の民間企業や福祉施設、札幌市の企業に出向いて現場実習の職場体験を行った。
成果・課題等
児童生徒の地域清掃や福祉施設訪問などで様々な人との交流を通し、いろいろな考えの人や立場の違いなどを学び、人間性・社会性を広げた。 生徒が様々な職場体験を通して、働くことの喜び・貢献することの意義・それに伴う責任の大きさ・厳しさなどを実際に体験できたことは、自分自身を見直し、今後の自分を考える上で貴重な体験となった。 商工会等との連携を密にし、職場体験を取り組むことが大切である。 総合的な学習の時間を活用しての体験活動であり意義深いものではあるが、総合的な学習の時間の中でのバランスを考えると時間数を増やすには限界がある。
今後の方向性
豊かな心の育成は緊要な課題であり、相手の立場に立ち、自他を尊重して人間関係を学ぶ機会としてのボランティア活動を今後も教育課程の中に位置づけていくことが大切である。 今後も商工会と連携を取り、受け入れ民間企業の負担を考慮しながら取り進める。 平成24年度からの中学校の新学習指導要領全面実施に向け、総合的な学習の時間や特別活動の年間指導計画の見直しをはじめとし、体験活動・交流活動などの見直しを進めて、バランスの良い教育課程を編成していく。
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ② 豊かな心の育成について 2 食育指導の充実
平成21年度の取組状況
栄養教諭による食育指導を各小・中学校において年一回実施した。 内容は、小学校では豆の食べ残しが多いので「大豆と仲良くなろう」のテーマや食事マナーなど、また、中学校においては「スポーツと栄養」、「受験と栄養」などに関して授業を実施した。 また、児童・生徒が自分たちでカロリーやエネルギー計算など栄養バランスを考える「バイキング給食」を行った。
成果・課題等
直接栄養教諭が指導することで、食育についての児童・生徒の興味、関心が高まっている。 平成21年度より栄養教諭が1名減となったが厳しい体制の中、指導内容の質を落とさないよう努力し、前年同様に「食育指導」を実施することができた。 栄養教諭1名体制での「食育指導」には、限界があることから、食育指導の方法や人員確保について検討すべきである。
今後の方向性
「食育指導」は、重要かつ必要であり、栄養教諭と各学校とが連携した実践を更に広げるとともに、食に関する指導を保護者にも啓発し充実を図っていく。 栄養教諭の定数加配の計画を北海道教育庁石狩教育局へ申請する。
担当課・係
学校給食センター 給食係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ② 豊かな心の育成について 3 地域と結びついた地場産食材の活用
平成21年度の実施状況
地場産食材を使用した安全・安心かつ新鮮な食材を提供した。 地場産食材の使用率： 米100%（ななつぼし） 野菜16%（アスパラ・ジャガイモ・もやし・とうもろこし・かぼちゃ・ヤーコン・ブロッコリー・トマト・ミニトマトなど） ゆとりっち芋団子汁、夏野菜のカレー、ヤーコン入りきんぴらごぼうなど地場産食材を使用した献立の提供を行った。
成果・課題等
昨年度、好評であった当別産食材をほぼ100%使用した、1日限定「当別産給食の日」を今年度においても実現できた。 地場産食材の使用については、天候の影響等により使用率が昨年度より7%減少している。 地場産食材は、安全・安心・新鮮ではあるが、天候の影響、収穫時期の限定、生産量や価格が安い物ばかりではないなど、使用する上での課題もある。
今後の方向性
今後についてもJA北石狩など各関係機関と連携を図り、地場産食材使用拡充に努める。
担当課・係
学校給食センター 給食係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ② 豊かな心の育成について 4 児童生徒の実態把握と指導体制及び相談体制の充実
平成21年度の取組状況
各小中校においていじめ調査を行い、その結果を踏まえ当該児童生徒の指導を行った。 また、町内校長会・教頭会で各校の取組状況を交流したり、児童生徒指導連絡協議会でもいじめや不登校、問題行動等の情報交流を行った。 学校における教育相談体制の充実のため、当別中学校・西当別中学校にスクールカウンセラーを1名配置した。また今年度より児童生徒などの相談体制として学校教育指導員を1名任用した。 不登校児童生徒の対応として、当別町適応指導教室に指導員を2名配置した。
成果・課題等
いじめや不登校、問題行動の発生件数は、各機関の地道な取組で減少傾向である。 継続して注意を払わなければならない状況は依然として存在し、スクールカウンセラーや児童相談所等と連携して情報交流を進めるなど、指導体制を強化することが大切である。 また、各校では「生徒指導交流会」を定例化し、学校を挙げて豊かな心の育成に取り組んでいるが、校内外の報・連・相を密にしたスピーディーな対応が重要である。
今後の方向性
学校でのいじめ調査を年間計画に位置づけて、児童生徒の実態を把握し指導の充実を図る。 不登校の状況を把握し、学校復帰を目指すため関係機関との連携の在り方などの検討を進める。
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ② 豊かな心の育成について 5 家庭学習の習慣化と規律ある生活習慣の確立に向けた指導の充実
平成21年度の取組状況
<p>家庭学習の習慣化として、「家庭学習の手引き」を各家庭に配布して学校と家庭が一体となった取組を行った。</p> <p>規律ある生活習慣の確立では、児童会・生徒会を中核とした「あいさつ運動」が取り組まれた。また、日常の学校生活の様子を観察したり、学校生活アンケートなどで児童生徒の生活現状を把握し、登下校指導・集会での指導のほか、休み時間などでも規律ある生活習慣への指導を行い、学校便りなどで家庭への協力呼びかけを図った。</p>
成果・課題等
<p>家庭学習の習慣化は徐々に図られてきているが、家庭学習の時間や内容などが課題である。</p> <p>基本的な生活習慣の確立では、家庭での取組が最も重要であり、「早寝早起き朝ごはん」運動を中心に、家庭の決まりやルールづくりなど、家庭へ更なる啓発が必要である。</p> <p>児童生徒の規律ある生活実現のために、学校での取組を一層工夫していくことが大切である。</p> <p>また、家庭・学校・地域の取みを統一したものとなるよう、一層の連携が必要である。</p>
今後の方向性
<p>家庭学習の習慣化は今日的な緊要課題であるので、児童生徒の学習意欲がより高まるように「家庭学習の手引き」を工夫することが重要である。</p> <p>規律ある習慣の確立に向けて、全教職員が一体となり粘り強く児童生徒の指導に当たるよう各学校で研修会を開催し、生徒指導の充実を図る。</p> <p>また、家庭・地域との連携・協力により基本的な生活習慣の確立を図る。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ③ 開かれた学校の推進と教育活動の改善について 1 学校経営に関する自己評価・学校関係者評価の充実
平成21年度の取組状況
<p>学校改善に向け学校の教育活動、学校経営の状況についての学校関係者評価は、平成20年度より保護者、地域の方及び他校の学校職員などによる学校関係者評価委員に自己評価の結果を説明し、関係者評価を受け、学校だよりで公表を行った。</p> <p>信頼される学校づくりを進めるために、評価項目を学校関係者評価委員が理解しやすいように変えた。</p> <p>地域の方が授業参観できるよう、学校公開日を設定し行った。</p>
成果・課題等
<p>学校・家庭・地域との一層の連携が図られ、意見聴取した内容を次年度の重点目標、学力向上を目指す取組に反映することができた。</p> <p>学校教育の進捗状況を学校便りやホームページなどで地域や家庭に情報発信し、学校教育に対する信頼を高めることができ、今後の学校運営の改善と充実につなぐことができた。</p> <p>今日的な課題などを取り入れ、学校関係者評価委員に理解してもらえるようにとり進めることが必要である。</p>
今後の方向性
<p>学校関係者評価委員や地域・保護者があるままの学校生活を知ることができるよう、学校公開日や相談日などを積極的・計画的に年間計画に設定する。</p> <p>また、各種便り発行やホームページの頻繁な更新を継続的に進め、きめ細かく情報提供に努める体制づくりが大切である。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ③ 開かれた学校の推進と教育活動の改善について 2 学校だより、ホームページの充実
平成21年度の取組状況
各学校において、学校経営方針や学校生活の様子などについて、学校だよりや学校ホームページを通じて、広く周知している。
成果・課題等
学校評価や行事予定など、保護者等が瞬時に確認できる学校ホームページは重要なツールであるが、各学校のホームページ担当者が変更となるたびに更新作業に時間がかかってしまうといった課題がある。
今後の方向性
平成22年度より運用される「町民ポータルサイト」に学校ホームページを開設し、ページレイアウトや更新作業の簡素化を図り、リアルタイムな情報を提供できるホームページ環境を構築していく。
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ③ 開かれた学校の推進と教育活動の改善について 3 小中連携の充実
平成21年度の取組状況
<p>当別小学校・当別中学校において国の「平成21年度問題を抱える子ども等の自立支援事業」の研究受託を受け、ピア・サポート指導など生徒指導に係る小中連携の取組を行った。</p> <p>また、西当別小学校・西当別中学校においても「平成18・19年度文部科学省委託事業」を実施した小中連携実践研究の取組から、引き続き教職員が生徒指導、学習指導などにおいて交流・連携を行った。</p> <p>弁華別小学校・弁華別中学校は小規模学校として早くから児童生徒、地域住民、PTAが一体となり合同での学校行事や、クリーン作戦（ゴミ拾い・清掃）などを行い、また、児童が中学校の部活動を見学し、交流を図った。</p>
成果・課題等
<p>交流活動により、教職員一人一人の小中連携に対する意識が高まった。</p> <p>小学校から中学校へ子どもが円滑に進学するためには、児童の中学校訪問、児童会・生徒会との交流や小中学校間での教職員の授業参観を行うなど、中学進学と同時に不登校となるような「中1ギャップ」防止に向けた小・中間の円滑な接続に大きな効果があった。</p>
今後の方向性
<p>小学校と中学校との連携に向けた取組を促進し、各校区の実態に応じた学習や生活の連続性をもてるよう、教職員や児童生徒の交流・連携の充実を図る。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ③ 開かれた学校の推進と教育活動の改善について 4 特別支援教育における支援・連携体制の充実
平成21年度の取組状況
<p>平成14年度より、介助が必要な児童生徒の特別支援学級に介助員を当別小学校・当別中学校に各1名、平成20年度より、学習支援や安全確保の支援が必要な児童生徒のいる普通学級に特別支援教育支援員を当別小学校・西当別小学校・当別中学校・西当別中学校に各1名配置した。</p> <p>平成19年度に設置した、特別支援教育推進サポート組織の巡回相談チームによる相談・支援の取組を活用するよう各学校へ周知した。</p> <p>幼稚園・各小中学校のコーディネーター（教職員）の連絡会議を年2回開催し、指導計画・指導方法の実践的な交流を行った。</p>
成果・課題等
<p>介助員・特別支援教育支援員の配置により教育的ニーズの必要な児童生徒にきめ細かな支援ができたことにより、学習しやすい学級になってきた。</p> <p>特別支援教育を必要とする児童生徒の支援体制・指導方法の充実には関係機関との連携による個別の教育支援計画の作成が必要であるため、各関係機関との連携が必要である。</p>
今後の方向性
<p>引き続き、特別支援教育が必要な児童生徒への支援体制の整備、個別の教育支援計画の作成についての研究やその具体化を進める。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ③ 開かれた学校の推進と教育活動の改善について 5 地域人材の活用による学校支援の充実
平成21年度の取組状況
<p>地域人材の活用として、小学校では、生活科「昔の遊び」で地域のお年寄りの指導、家庭科でのミシンの指導、スキー授業での補助、絵の指導や総合的な学習の時間での森林や水質・昆虫などの説明など、また、中学校では、育児体験や部活動の補助など、地域人材の協力を得て実施することができた。</p> <p>また、学校支援地域本部事業と連携し地域人材の協力を得た和服の着付けや和楽器指導などの授業を取組んだ。</p>
成果・課題等
<p>これまでの地域との連携で培った協力体制により、今年度も学校教育活動を充実させることができた。</p> <p>平成20年度より実施している学校支援地域本部事業の取組は、コーディネーターによる積極的な学校への啓発が重要であり、学校では外部人材を受け入れる体制の整備と幅広く支援を求めていく職員の意識改革が不可欠である。</p>
今後の方向性
<p>学校教育活動の充実を図るために、地域の人々の理解・協力を得ながら学校支援地域本部事業の取組を進める。</p>
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ④ 教育環境・施設整備の充実について 1 安全点検や安全確保の取組
平成21年度の取組状況
各学校施設の安全点検・調査等を行い、確認された箇所を改善した。 学校に対して、防災及び自然災害に対する注意・啓発を行い、火災、地震、不審者侵入時のマニュアル整備、避難訓練を実施した。 地域防犯連合会との連携やスクールガードリーダーによる学校区の巡回、学校周辺の環境等の点検や登下校における児童生徒の安全な行動に関する指導などを実施し、小学校1年生に防犯ブザーを配付した。 本年度もAED（自動体外式除細動器）の寄贈を受け、町内全ての学校に配置できた。また、昨年に続き教職員に対する講習会を実施した。
成果・課題等
各取組により児童生徒の安全確保の条件整備を進めることができた。 各学校施設の老朽化の改善については、財政的なこともあるが、児童生徒の安全確保のため、今後も優先順位を付けて実施していくことが必要である。
今後の方向性
学校との連携及び施設点検等により、施設の改修修繕に取り組んでいく。 関係機関と連携し、児童生徒の安全確保の取組を継続的に実施していく。
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ④ 教育環境・施設整備の充実について 2 小・中学校の耐震化に向けた取組
平成21年度の取組状況
各学校施設の耐震診断（第2次診断）を実施した結果、当別小学校の校舎と屋内体育館、当別中学校の校舎と屋内体育館、西当別中学校の屋内体育館が、耐震性能についての文部科学省が定めた基準を下回っていたことが判明した。 耐震診断結果について町のホームページにて公表した。
成果・課題等
今回の耐震診断結果に基づき、実施設計中であり、平成22年度に実施される耐震補強工事の予算措置をすることができた。
今後の方向性
平成22年度に当別小学校校舎、当別中学校校舎及び屋内体育館、西当別中学校屋内体育館の耐震補強工事を実施する。 また、当別小学校屋内体育館については、「建て替えが必要」と判断されたため、平成22年度に実施設計を行い、平成23年度で建て替え工事の実施を計画していく。
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
1 学校教育の推進 (2) 小・中学校教育の推進 ④ 教育環境・施設整備の充実について 3 スクールバス運行の拡充と一般混乗の試験運行の実施
平成21年度の取組状況
スクールバスの運行路線の見直しを行い、以前より要望のあった川下地区の通年運行の実施や各路線の停留所化を図った。 スクールバス運行地区における地域住民の交通手段を補完するため、一般混乗を試験的に全スクールバス運行路線で実施した。 年2回、広報で住民へ周知を行い延べ40名の利用があった。
成果・課題等
スクールバス運行で送迎することにより児童生徒登下校の安全確保ができた。 一般混乗は、運行日や時間が限定されていることから一部の地域でのみの利用となった。
今後の方向性
引き続き、平成22年度においても一般混乗の試験運行を実施し、動向を調査する。
担当課・係
管理課 学校教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (1) 家庭と地域の教育力の向上について 1 家庭教育関係事業の拡充
平成21年度の取組状況
【心のふれあい推進事業】 乳幼児10ヵ月検診に訪れる保護者に絵本を手渡し、読み聞かせの大切さや方法などを伝えながら、親子のつながりを深めるきっかけづくりとして、読み聞かせ団体「絵本交流会」と連携し、ブックスタート事業を推進した。10ヵ月児健診(年10回)受診親子(96組参加) 【父親を対象とした子育て講座】 父親の家庭教育への意識を高め、子どもとのコミュニケーション手法を身につけるため、「父子deカメラマン」を開催した。(8組18名参加) 【その他の家庭教育事業】 「絵本に親しむ講演会：人形劇団ブランコinとうべつ」(180名参加) 「幼児と親のつどい：チビッコお楽しみ交流会」(87名参加) 「中学生子育て講座」西当別中学校3年生対象(100名参加)
成果・課題等
【心のふれあい推進事業】 乳幼児10ヵ月児検診を受診するすべての親子に対し、絵本の素晴らしさを感じる機会を提供した。絵本の読み聞かせを通じた親子のふれあいやコミュニケーションを促進し、良好な親子関係づくりに寄与した。 【父親を対象とした子育て講座】 今回は春をテーマにカメラ撮影を父子共同作業により行うことで、父親の家庭教育参加への意識を高めることができたが、今後、より多くの参加者を募る必要がある。 【その他の家庭教育事業】 多くの参加者を得て、効果的な取組が実施できた。
今後の方向性
心のふれあい推進事業で行う絵本を通じた情操教育は、親子のふれあいやコミュニケーション手法を学ぶ機会として大切であることから継続実施する。 なお、父親参加家庭教育事業は父親の家庭教育参加への意識を高めるため、継続した取組とし、参加者拡大を図るため事業内容の検討を行う。 また、事業の実施にあたっては子育てサークル等との連携により効果的な展開を図り、家庭教育力の向上に努める。
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
<p>2 社会教育の推進</p> <p>(1) 家庭と地域の教育力の向上について</p> <p>2 「早寝早起き朝ごはん」運動の取組</p>
平成21年度の取組状況
<p>教育委員会封筒へ啓発ロゴを印刷した。</p> <p>PTA や育成会、少年団等の定期総会時にチラシを配布し、関係団体と連携した意識啓発活動を行った。</p> <p>また、小学生が参加する通学合宿やジュニアリーダーセミナー等、宿泊しての研修においても規則正しい生活習慣を意識した事業として開催した。</p>
成果・課題等
<p>子どもの基本的な生活習慣の確立を図ることは重要であり、子どもの育成に関係する団体と連携することで効果的な周知を図ることができた。</p> <p>また、宿泊を伴う研修では参加する子ども達に規律ある生活習慣体験とすることができた。</p> <p>子ども達の生活習慣付けには各家庭の理解と活動の実践が必要であり、関係団体と連携した意識啓発活動を継続して実施する必要がある。</p>
今後の方向性
<p>各家庭の実態把握に努めながら、子どもの規則正しい生活習慣の確立のため「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発活動を関係機関と継続して取組を進める。</p>
担当課・係
<p>社会教育課 社会教育係</p>

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (1) 家庭と地域の教育力の向上について 3 学校支援地域本部事業の推進
平成21年度の取組状況
平成21年度より専属の地域コーディネーターを配置し、地域の人々による学校支援活動を展開した。 事業概要及び支援ボランティア募集のリーフレットを作成し、全戸配付した。 また、ボランティアの意欲向上を図るため、ボランティアの交流会を開催した。 支援活動 ・当別小学校、西当別小学校で読み聞かせ指導を実施。 ・当別小学校、西当別小学校、西当別中学校でスキー学習指導を実施。 ・当別小学校で交通安全指導を実施。 ・当別中学校で浴衣着付け授業支援を実施。 ・西当別中学校で和楽器授業支援を実施。 ・西当別小学校で英語授業支援を実施。
成果・課題等
地域コーディネーターの配置により効果的な学校活動支援を実施することができた。 学校支援活動を広報誌や教育委員会だよりに掲載し、広く活動周知を図ることで地域の学校への教育活動支援の気運を高めることができた。 学校支援活動の更なる拡充を図る必要がある。 文部科学省の委託費が平成22年度で終了することに伴い、平成23年度以降の事業継続手法の検討が必要である。
今後の方向性
学校へ支援内容をPRし、学校支援ボランティアの活用促進を図る。 ボランティアの意欲向上を図るため、ボランティアの交流会を開催する。 平成23年度以降の事業実施財源の確保及び事業展開の手法を検討する。
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目	
2 社会教育の推進	
(1) 家庭と地域の教育力の向上	
4 町民自主企画講座や当別学講座の開催	
平成21年度の取組状況	
【町民自主企画講座】	
町民自らが学習ニーズを反映し、企画する講座等の開催を支援（講師謝金の補助、社会教育施設使用料の減免、広報活動の支援等）した。	
「抱きしめておくりたい～いのちのバトンを受けとって～」	参加者 26名
「写真家がみつめる森のいのち」	参加者 42名
「Life is beautiful 世界をまわってきた AKIRA さんのお話と歌」	参加者 60名
「オリーブの折り紙作品展&実践」	参加者 492名
「ふれあいの夕べ」	参加者 62名
【北海道医療大学連携セミナー「当別学講座」】	
北海道医療大学と共催し、様々な形態の学習機会を広く町民に提供した。	
「やさしい薬のおはなし」	参加者 26名
「もっと知りたい、食品の安全について！」	参加者 48名
「DNA ってなんだろう？」	参加者 38名
「魅惑的な生薬“紫根（シコン）”」	参加者 19名
「音楽でこころとからだをリラックス」	参加者 29名
「1日歯医者さんになって病院を探検しよう！」	参加者 16名
成果・課題等	
【町民自主企画講座】	
町民の自主的な講座の企画・運営を支援することで、主体的な生涯学習活動を助長することができた。	
【北海道医療大学連携セミナー「当別学講座」】	
町民への学習機会の提供とともに、町内にある大学と連携した講座を開催することで、講師との連絡調整が円滑に行うことができ、報償費等の費用対効果も大きい。	
今後の方向性	
今後も町民または北海道医療大学と連携し、様々な学習機会の提供を積極的に推進していく。	
当別学講座については、単発的な講座内容の構成ではなく、年間テーマを設定するなど、体系的な講座とし、受講を重ねることで、学習効果を高められるよう企画する。	
担当課・係	
社会教育課 社会教育係	

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (1) 家庭と地域の教育力の向上について 5 人材バンク登録の拡大と出前講座「とうべつ知恵袋」の活用促進
平成21年度の取組状況
人材バンク登録者（団体） 10分野、12名（団体含む） 講師派遣実績 「ふれあい倉庫石窯で作るピザ作り」依頼団体：当新教研技術・家庭科部会 参加者：4名 「いたどりの水でっぽう作り」依頼団体：わくわくキッズ実行委員会 参加者：21名 「星の観測会 IN TOBETSU」依頼団体：当別町子ども会育成連合会 参加者：120名 「そば打ち」依頼団体：弁華別教育振興会 参加者：18名 「イグルー作り」依頼団体：わくわくキッズ実行委員会 参加者：25名 「着付け教室」依頼団体：JA北石狩農協当別ブロック女性部 参加者：22名
成果・課題等
町民への学習機会の提供とともに、地域住民の学習した成果や身につけている技能・知識を生かす機会となり、地域教育力の向上や町民の生涯学習活動の推進を図ることができた。 人材バンク登録者の増加に伴い、技能や知識を活かす機会の確保が必要となっている。
今後の方向性
PTA事業や教育委員会事業での活用を含め、人材バンク登録者の活動機会の拡大を図る。 人材バンク登録者の拡大を図るため、PRに努める。
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (2) 青少年教育の推進について 1 青少年健全育成のための情報共有と各機関との連携強化
平成21年度の取組状況
町内小・中学校と定期的に情報提供及び情報交換を行った。 当別交番、太美駐在所と密接に情報の共有と連携を行った。 地域防犯連合会（当別地区、西当別地区、北地区（弁華別地域））と情報の提供及び交流を行った。 防犯連絡会議事務局（事務所は白樺コミセン内）と常に情報の共有を行った。 少年指導委員による定期夜間巡回及び祭典時の特別巡回を行った。 専任指導員による町内の昼間巡回と関係施設等を訪問して情報交換を行った。 問題行動発生時に際して、専任指導員が学校へ出向き、教諭等と対処に向けた活動を行った。 少年指導センターだより（年3回）、健全育成啓発チラシ（年1回）を発行した。
成果・課題等
学校、警察及び防犯連絡会議との情報交換により、情報の共有を密に行う事ができた。 少年指導委員による巡回や関係機関の連携した活動等により問題行動の発生が減少した。 不審者発生に係る警察への通報を迅速に行う意識啓発を図る必要がある。
今後の方向性
専任指導員、少年指導委員による町内巡回及び青少年に対する健全育成指導を継続実施する。 児童生徒及び地域住民に対し、不審者発生時の警察への通報を速やかに行うよう指導及び啓発を行う。 情報の収集及び交換のため、関係施設等の訪問を強化する。
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (2) 青少年教育の推進について 2 ネット巡回の強化
平成21年度の実施状況
インターネット上に児童生徒が書き込んでいる友人関係や問題行動等について、日常的な巡回を行った。 問題のある書き込みを発見した場合は、必要に応じて学校等の関係機関と連携した対応を行った。
成果・課題等
ネット巡回により町内巡回指導時の適切な指導に役立てることができた。 個人情報保護に十分配慮した取組を行う必要がある。
今後の方向性
インターネット上の被害及び加害防止の為に、ネット巡回を強化する。 問題のある書き込みを発見したときの即時対応を行う。 学校等関係機関との連携強化を図る。
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (2) 青少年教育の推進について 3 地域との連携による青少年教育の推進
平成21年度の取組状況
【子ども会との連携】 各子ども会育成会と連携し、大会事業（ティーボール大会、スーパードッジボール大会、新春子どもカルタ大会等）、育成事業（子ども会リーダー及び育成指導者研修会、ジュニアリーダーセミナー等）を実施した。 【ジュニアリーダーの運営協力による通学合宿事業の継続実施】 町内小学5・6年生対象（参加者25名）の5泊6日の通学合宿を開催した。 炊事・掃除・洗濯など「自分たちのことは自分たちです」ことをモットーに取り組み、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識した規則正しい生活習慣の定着を図った。 合宿期間中は、ジュニアリーダーが参加小学生とともに宿泊し、サポートを行った。
成果・課題等
【子ども会との連携】 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりの推進を図った。子ども会員の減少により、休会を余儀なくされている子ども会がある。学校の中だけではできない様々な社会体験の場、異年齢交流の場として子ども会の活動・充実が必要である。 【ジュニアリーダーの運営協力による通学合宿事業の継続実施】 ジュニアリーダーの中学・高校生がサポートに加わることで、参加小学生にとって、異年代交流につながった。 また、もらい湯など地域住民が関わることにより地域の教育力向上につながった。 人と人のつながりや集団生活等、貴重な体験を通して、参加者が広い視野を持ち、自ら考え、行動できる力を身につけるきっかけづくりとなった。 運営については、育成会やPTA、学校関係者による実行委員会により行っているが、今後さらに地域住民による自主性・主体性を高めていくことが課題となっている。
今後の方向性
【子ども会との連携】 子ども同士の集団活動の機会が減少している中で、子どもの社会的自立や協調性を育む意味からも、子どもを中心とした活動団体の育成支援を進める。 【ジュニアリーダーの運営協力による通学合宿事業の継続実施】 参加する小学生が自ら「早寝・早起き・朝ごはん」の規則正しい生活習慣を身につけるとともに、中学・高校生ジュニアリーダーとの異年代交流が図られ、人と人のふれあいの大切さを知ることができるようにするため、今後も継続して実施する。 運営は、ジュニアリーダーも含め、より多くの地域住民が関わる形で進める。
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (3) 文化・芸術活動の推進について 1 子ども読書活動の推進と図書室の利用促進
平成21年度の取組状況
<p>【ブックフェスタ2009「夏休みお楽しみ会」】 子どもの読書活動推進のため、平成21年7月30日に当別町学習交流センター（ふくろう図書館）にてブックフェスタ2009「夏休みお楽しみ会」を開催した。ブックフェスタではクラフト教室、折り紙遊び、おはなし会、大型紙芝居を実施した。</p> <p>【秋の読書週間】 平成21年10月25日から11月8日の期間、秋の読書週間を設定し、おはなし会、折り紙遊び、子ども館長体験等を実施した。</p> <p>【巡回図書】 町内小学校に新刊児童図書を貸出した。（年間6回実施）</p> <p>【いのちの図書】 北海道医療大学総合図書館より、学習交流センター・西当別コミュニティーセンター図書室に年間17回各図書室50冊ずつを借り受けて、広く町民に貸し出しを行った。 延べ貸し出し数は学習交流センター591冊（前年度654冊）、西当別コミュニティーセンター図書室173冊（前年度112冊）であった。</p> <p>【図書室利用者数及び貸し出し数】 町民の読書活動の推進のため通年とおして図書の貸し出しを行った。 貸し出し実績は当別町学習交流センター5,875人（前年度6,533人）、13,908冊（前年15,259冊）、西当別コミセン8,337人（前年度8,375人）、17,895冊（前年度17,111冊）であった。</p> <p>【当別町子どもの読書活動推進計画策定】 子どもの読書活動に関係する各機関（小学校、幼稚園、保育所）や団体との協議を経て、5ヶ年（平成22年度から平成26年度まで）の推進計画を策定した。</p>
成果・課題等
<p>「夏休みお楽しみ会」のおはなし会では、読み聞かせボランティアと連携を図ることで内容の充実を図ることができた。</p> <p>図書室の利用拡大を図る取組が必要である。</p>
今後の方向性
<p>当別町子どもの読書活動推進計画に基づき、保育園・保育所・幼稚園への巡回図書の貸し出しを行う。管内市町村と連携した図書の相互貸借を継続して実施する。</p>
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (3) 文化・芸術活動の推進について 2 小学校郷土資料室の設置
平成21年度の取組状況
<p>平成19年5月の開拓郷土館廃止後、収蔵品の保存整理を進め、郷土史を学ぶ教材として利活用するため、町内小学校の教員で組織する郷土読本研究委員会を通じた取組により当別小学校、西当別小学校の2校に設けた郷土資料室に収蔵・展示した。</p> <p>平成21年5月15日 郷土読本研究委員会と収蔵品の移転について協議 6月25日 郷土読本研究委員会と旧開拓郷土館において収蔵品の確認 8月24日 郷土読本研究委員会と収蔵品の選定、移転時期協議 9月12日 当別小学校に一部収蔵品を移転 9月28日 西当別小学校に一部収蔵品を移転 10月下旬 各校において資料室を整理し展示</p>
成果・課題等
<p>平成21年11月より当別小学校、西当別小学校の各校空き教室に郷土資料室を開設し、小学生が身近に郷土資料にふれることができる環境を整備した。</p> <p>旧開拓郷土館に保管される収蔵品の維持管理及び活用方法等が課題である。</p>
今後の方向性
<p>旧開拓郷土館に保管される収蔵品の利活用を図るため、分類整理を進め、文化財保護に努める。</p>
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (3) 文化・芸術活動の推進 3 歴史ボランティアガイドの養成と活動支援
平成21年度の取組状況
<p>【伊達記念館・伊達邸別館の展示品の配置換え等】</p> <p>当別町歴史研究特別顧問と、歴史ボランティア会員が連携して、伊達記念館展示品のレイアウトを検討・協議し、配置換えを実施した。</p> <p>また、古文書の整理等を歴史ボランティア会員の協力で実施した。</p> <p>【ボランティアガイドの養成と活動支援】</p> <p>10月14日(水)北海道学習センター所属「道史学習サークル」19名が町内視察で来町の際に伊達記念館等のガイドを実施した。</p> <p>当別開拓の歴史を学ぶための当別歴史ボランティアの会が開催する「当別歴史講座(全8回シリーズ)」を支援した。(延べ参加者数 464名)</p>
成果・課題等
<p>伊達記念館・伊達邸別館展示品の配置換えや、古文書の整理等の活動を歴史ボランティア会員と協働で実施することにより、歴史調査・伝承活動に対する気運を高めることができた。</p> <p>当別歴史講座は、多くの町民の関心を集める講座となり、歴史ボランティア会員がその講座を自主的に運営することで、団体の活動促進や意識の向上につながった。</p>
今後の方向性
<p>歴史ガイドマニュアル作成、学習会及び視察研修等の歴史調査・伝承活動の支援を行い、団体活動の促進を図る。</p>
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (3) 文化・芸術活動の推進 4 白樺コミュニティーセンターの一部改修の実施
平成21年度の取組状況
<p>昭和55年建設から約30年を経過して経年劣化・損耗が著しいため、平成21年度に「地域活性化・生活対策臨時交付金」(平成20年度)の繰越事業により改修工事を実施した。</p> <p>工事内容は、多目的ホールの床張替、屋根一部張替、遮光カーテンの取替、ホール及び廊下の床張替、音響設備の一部修繕。</p> <p>工事完了後の8月23日には、当別町文化協会創立40周年記念「文化芸能公演会」が管内市町より5団体の参加を得て、約200名の入場者を集めて開催される等、使いやすい施設となった。</p>
成果・課題等
<p>利用者の利便性の向上、事故防止などの安全確保がなされた。</p> <p>建物の耐震診断等を含め今後予想される改修については、中・長期的展望の中で取組んでいく必要がある。</p>
今後の方向性
<p>利用者の利便性を考慮した計画的な施設機能の維持・保全に努める。</p>
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (3) 文化・芸術活動の推進 5 社会教育施設内における展示スペースの整備
平成21年度の取組状況
<p>当別町文化協会が主催する文化祭については当別町総合体育館及び西当別コミュニティーセンターを相互に隔年で使用しており第60回記念文化祭は西当別コミュニティーセンターアリーナを総合展示会場に開催した。</p> <p>(出展者27団体(363人)及び13個人の767作品)</p> <p>常設の展示スペースとして、白樺コミュニティーセンターでは1階ホールと2階エントランスホールの作品陳列棚を確保し、西当別コミュニティーセンター及び当別町学習交流センターの玄関ホールには作品展示場を設けた。</p>
成果・課題等
<p>文化祭では文化協会と協力し、西当別コミュニティーセンターを主会場に作品展示を行い多くの町民に文化にふれる機会をつくることができた。</p> <p>白樺コミュニティーセンターの他、社会教育施設の活用を図り展示スペースの確保に努めた。</p>
今後の方向性
<p>白樺コミュニティーセンター、西当別コミュニティーセンター、当別町学習交流センターを活用した作品の展示機会を提供し文化・芸術活動を推進する。</p>
担当課・係
社会教育課 社会教育係

点検・評価項目	
2 社会教育の推進	
(4) スポーツ活動の振興について	
1 体育指導委員との連携によるニュースポーツ紹介事業の推進	
平成21年度の取組状況	
【ニュースポーツチャレンジ】	
キンボール	
西当別小学校4年1組（児童及び保護者51名）	体育指導委員 3名派遣
当別小学校4年1組（児童及び保護者62名）	体育指導委員 3名派遣
当別小学校5年3組（児童及び保護者72名）	体育指導委員 3名派遣
当別小学校6年4組（児童及び保護者53名）	体育指導委員 3名派遣
こころのふれあい通学合宿 in 当別（参加者39名）	体育指導委員 5名派遣
スナッグゴルフ	
権戸町高齢者クラブ（会員20名）	
ドッジビー	
西当別高齢者クラブ連合会（会員58名）	
【スポーツ指導員派遣事業】	
福祉まつりふれあい広場「スナッグゴルフ体験コーナー」	体育指導委員 2名派遣
あそ雪の広場「スナッグゴルフ体験コーナー」	体育指導委員 4名派遣
成果・課題等	
<p>ニュースポーツ（3種目）に親しみ、楽しむ機会を提供することで、広く町民へニュースポーツを周知することができた。</p> <p>また、ほとんどの事業を体育指導委員と連携して実施できたことで、体育指導委員及び職員の指導力の向上を図ることができた。</p>	
今後の方向性	
<p>さらにニュースポーツの周知及び普及拡大するために、新たな種目も取り入れて紹介事業を実施していくとともに大会の実施など、発展した活動も検討していく。</p>	
担当課・係	
社会教育課 スポーツ振興係	

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (4) スポーツ活動の振興について 2 子どもスポーツ事業の実施
平成21年度の実施状況
<p>【ドッジボールチャレンジ】</p> スポーツ体験を通して運動の楽しさや仲間づくりの素晴らしさを感じてもらうことを目的に、当別総合型地域スポーツクラブ運営委員5名を講師に迎えて実施した。 (年2回実施 46名参加) <p>【2010 ドッジボールマッチ in 当別】</p> スポーツ体験を通して運動の楽しさや仲間づくりの素晴らしさを感じてもらうことを目的に、当別総合型地域スポーツクラブ運営委員8名との連携により大会を実施した。 (小学校低学年の部 3チーム30名参加・小学校高学年の部9チーム88名参加) <p>【ジュニアスイミングスクール】</p> 水泳実技体験によりスポーツを楽しむことを目的に、当別スイミングサークル会員等4名及び体育指導委員1名を講師に迎えて実施した。(56名参加) <p>【おやこ元気アップ!事業 in 当別】</p> 文部科学省、財団法人日本レクリエーション協会による「子どもの体力向上推進事業」として、当別幼稚園教諭6名、体育指導委員5名と連携し、子どもの体や運動遊びの現状と課題について理解を深めるとともに、親子で楽しく体を動かす事業を実施した。 (31組69名参加) <p>【スポーツ指導員派遣事業】</p> 当別町スポーツ少年団本部「体力テスト」 体育指導委員 7名 当別町子ども会育成連合会「スーパードッジボール大会」 体育指導委員 5名
成果・課題等
団体等と連携を図り、各スポーツ事業の内容等を充実したものとすることで、子どもたちが各種スポーツに接することができた。 また、地域の人材を活用することで、地域の人材の技能・能力を活かした活動の場を増やすことができた。 指導の機会の提供による指導者となる人材の育成・確保が必要である。
今後の方向性
指導者となる人材が固定化する傾向にあるため、スポーツ団体と連携して指導者の拡大を図り、事業回数及びスポーツ種目の拡大を目指す。
担当課・係
社会教育課 スポーツ振興係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (4) スポーツ活動の振興について 3 総合型地域スポーツクラブ設立に向けた支援
平成21年度の取組状況
設立準備委員会に対して、北海道体育協会との連絡調整、申請手続き、会議資料作成、スポーツ教室運営、会員募集、事業周知PR等に係る支援を行った。 【会議】 設立準備委員会 12回 運営委員会 6回 【スポーツ教室】 チャレンジヨガ 23回 ウォーキングチャレンジ 2回 ドッジボールチャレンジ 2回 きのこウォーキング 1回 フロアカーリング体験会 1回 【大会】 ドッジボールマッチ 1回 【周知PR】 町広報誌掲載 2回 【設立総会】 3月22日開催
成果・課題等
設立準備委員会において実施した、総合型地域スポーツクラブの事業に参加した233名の町民が、ヨガ、ウォーキング、ドッジボール等を通じてスポーツの楽しさを体験することができた。 また、平成22年3月22日に設立総会を開催し、住民による自主的な運営組織として「当別総合型地域スポーツクラブ」を設立した。 クラブは徐々に町民の認知度を増しているが、更にPRをする必要がある。
今後の方向性
当別総合型地域スポーツクラブが多種目、多世代、多岐に渡る志向に対応できるメリットを活かすために、クラブ運営と活動の安定化に向けた支援を行う。
担当課・係
社会教育課 スポーツ振興係

点検・評価項目
2 社会教育の推進 (4) スポーツ活動の振興について 4 当別小学校水泳プール改修工事の実施
平成21年度の取組状況
当別小学校水泳プールの屋根ポリカゴネード板張替え、内部壁面補修、プールサイドベンチ補修、スチールフラッシュドア補修、水中ポンプ取替、自動残留塩素計取替を実施した。
成果・課題等
改修工事により、プール屋根の老朽化等を改善し、利用者の安全確保を図ることができた。
今後の方向性
施設点検を強化し、適切なプールの管理運営及び利用者の安全確保の取組を実施する。
担当課・係
社会教育課 スポーツ振興係

第4章 学識経験者による意見

教育委員会の活動状況や施策・事業等の点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に反映させるため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言を次の4人の方からいただきました。

岩 部 明 氏 (当別町社会教育委員長)
高 橋 千枝子 氏 (当別町社会教育副委員長)
高 橋 昭 大 氏 (当別町 PTA 連合会会長)
佐々木 彦 治 氏 (当別町 PTA 連合会副会長)

1 学校教育の推進

(1) 幼稚園教育の推進

1 小学校との交流及び教育相談機能の充実

小学校入学時の園児本人はもとより保護者の不安を解消する取組は、大変有効なことである。

スムーズに小学校生活に入れるよう、小学校や保育所等関係機関との連携により、効果的な取組を継続して欲しい。

2 民営化による認定こども園設置に向けた取組

認定こども園の設置により保護者の選択肢が増え、女性が働きやすくなるなど期待している。

子どもを預ける保護者及び子どもの立場に立った協議を法人と行い、より良い環境を形成して欲しい。

認定こども園について、今後とも保護者や地域に情報提供をすることが必要である。

(2) 小・中学校教育の推進

① 確かな学力・体力の向上について

1 全国学力・学習状況調査等の分析と改善方策の検討

全国学力・学習状況調査等の分析結果を効果的に活用し、今回課題としてあがった「知識・技能の習得及び活用力の向上」を高める改善方策を検討し、より適切な対応を進めて欲しい。

2 英会話指導助手配置事業の拡充

子どもの成長過程において、早い時期に英語に接する機会を設定したことを高く評価する。

身近な季節、行事の話題から国際理解を進めて欲しい。

3 教職員研修の充実

教職員の資質向上は、子どもたちへの教育活動に直結する重要な事項であることから、今後とも教職員の指導技術向上に努めて欲しい。

今後の研修会開催にあたっては、さらに新鮮な内容を検討され多くの教職員が参加できるように検討して欲しい。

② 豊かな心の育成について

1 ボランティア体験及び職場体験事業の充実

地域清掃、福祉施設訪問などのボランティア活動は人間性、社会性を形成する上でも大切な取組である。

今後とも、ボランティア体験のみならずボランティア活動の意義や心を子どもたちに伝えながら、継続した実践を期待する。

また、職場体験については、決められた学習時間をこなしながらの貴重な体験機会であることから、協力企業の理解を得て今後も継続して欲しい。

2 食育指導の充実

栄養教諭の増員により、食育指導が十分になされることを希望する。

また、食の基本となる家庭における保護者への啓発や研修を行って欲しい。

3 地域と結びついた地場産食材の活用

当別産食材には、収穫や食材単価の面で安定した供給が難しい面があると思うが、当別には、地場産食材があり、そして安全で安心ということも理解してもらえるので、できる限り地場産品の使用拡大に努めて欲しい。

児童生徒に生産者や JA 北石狩の方々のコメントや写真などを紹介することで、地域の食に対する関心も増すのではないかと。

4 児童生徒の実態把握と指導体制及び相談体制の充実

いじめ問題は表に現れにくい面もあることから、いじめ調査のみならず各学校において児童生徒を注意深く目配りし、学校生活の中から変化をいち早く発見するなど実態の把握と個人情報保護を含めた適切な対応をお願いします。

不登校、または虐待など今後もしっかり把握し、早急な対応を望む。

5 家庭学習の習慣化と規律ある生活習慣の確立に向けた指導の充実

規則正しい生活習慣と学習習慣の定着は、子どもの人格形成に重要であることから、なお一層の取組をお願いする。

また、家庭・地域との連携・協力について具体的な効果を期待するとともに、子どもたちはもとより、保護者に今後とも継続的に啓発していくことが必要である。

③ 開かれた学校の推進と教育活動の改善について

1 学校経営に関する自己評価・学校関係者評価の充実

自らが評価すること、評価されること、公表することは、学校経営に緊張感を生み改善に資する。

地域の中核として信頼される学校であるために、評価と運営改善に努め、なお一層の充実を図るよう努めて欲しい。

2 学校だより・ホームページの充実

ホームページを見やすくし、更新を頻繁にすることにより、保護者や地域に対して、できるだけ新しい情報を発信して欲しい。

3 小中連携の充実

当別町は小学校と中学校が同一学校区であり、中学校入学に対する不安を解消するためにも、さらに教職員の連携と指導力強化に力を注ぎ継続した取組をお願いする。

4 特別支援教育における支援・連携体制の充実

特別支援教育充実のため各関係機関との連携を継続し、支援体制の万全を期すようお願いします。

個別の教育支援計画の作成が必要なので、教職員、各関係機関、保護者との密接な連携を進めて欲しい。

5 地域人材の活用による学校支援の充実

地域人材による学校活動の支援は、地域と学校の信頼関係を深め、子どもたちへの体験の幅が広がることから有効である。

学校での外部人材受入に対する教職員の意識改革に努め、活動の充実に発展させて欲しい。

児童生徒に、地域のマンパワー、地域の良さを知ってもらわなければならない。

④ 教育環境・施設整備の充実について

1 安全点検や安全確保の取組

季節に応じた通学路、学校周辺の環境を踏まえた指導や、不審者の対策及び交通事故防止に向けた児童生徒の安全確保に今後とも努めて欲しい。

自転車乗車のルールなどの指導強化をして欲しい。

学校施設の改修修繕について、財政的な課題もあると思うが、遺漏のないように進めて欲しい。

防犯ブザーの活用指導を継続的に行って欲しい。

2 小・中学校の耐震化に向けた取組

平成22年度の当別小学校、当別中学校、西当別中学校の耐震補強工事の実施を高く評価する。

財政上の問題もあると思うが、安全な施設とするためにも今後とも必要な工事について継続的に進めて欲しい。

3 スクールバス運行の拡充と一般混乗の試験運行の実施

スクールバス運行については、今後も各町内会等の意見を聞きながら、ニーズにあった運行と安全運行を実施して欲しい。

一般混乗については、周知徹底をする中で利用の動向を把握し、有効な配慮をお願いする。

2 社会教育の推進

(1) 家庭と地域の教育力の向上について

1 家庭教育関係事業の拡充

家庭の教育力向上は、子どもの人格形成にかかわる基本であることから、ブックスタートをはじめとする各種家庭教育支援事業は、今後とも継続した対策を検討して欲しい。

なお、実施に当たっては、参加者の少ない事業は、時期などの見直しを含め地域のサークルや団体との連携協力により効果的な取組を期待する。

また、親子が家庭以外の場所で触れ合うことは特別な事柄なので、さまざまな企画を検討して欲しい。

2 「早寝早起き朝ごはん」運動の取組

子どもの規則正しい生活習慣確立は、体の成長のみならず精神や学力にも影響が及ぶことから、継続した啓発活動をお願いする。

教育委員会封筒の啓発ロゴは、慣れてくると文字を見るだけになり、効果が薄くなってきたと思われるので工夫が必要と考える。

3 学校支援地域本部事業の推進

地域コーディネーターの活躍による、学校支援活動の充実を高く評価するとともに、今後とも充実した取組を期待する。

文部科学省の委託が終了する平成23年度以降も、財政面を含めた課題があると思うが、是非継続して欲しい。

4 町民自主企画講座や当別学講座の開催

町民の学習ニーズに応える機会として、学ぶことが楽しいと実感できる充実した講座を開催して欲しい。

学習効果を高める講座内容を検討して、町民への周知を積極的に行い、今後とも継続して欲しい。

5 人材バンク登録の拡大と出前講座「とうべつ知恵袋」の活用促進

人材バンクの活用機会の拡大と各団体と連携を図りながら、人材バンク登録者の拡充に努め、町民の学習ニーズに応える取組をお願いする。

(2) 青少年教育の推進について

1 青少年健全育成のための情報共有と各機関との連携強化

青少年の健全育成指導については、関係機関との連携を常にとり、不審者に対する対応についても迅速な通報ができるよう、広く地域への啓発に努めて欲しい。

2 ネット巡回の強化

インターネットを介した被害や友人関係の問題は、今後さらに増加すると思われるので、ネット巡回については継続しながら関係機関と連携した対応をお願いする。

保護者や学校等のネット利用の指導強化をお願いする。

3 地域との連携による青少年教育の推進

地域の子どもと大人が参加する機会は、「ふるさと当別」を意識する良い機会である。子ども会と連携した大会や研修、ジュニアリーダーの活躍は、高く評価できる。通学合宿は、大変貴重な経験ができるすばらしい事業であるので、学校側との日程調整など十分連携をとり、実行委員の協力のもと是非今後も継続して欲しい。

(3) 文化・芸術活動の推進について

1 子ども読書活動の推進と図書室の利用促進

町民の読書環境充実にに向けた効果的な取組を行ない、利用拡大に努めて欲しい。今後とも読み聞かせサークル等との連携を深め、多岐にわたる本の紹介を進めて欲しい。

2 小学校郷土資料室の設置

児童が身近に郷土資料に触れることのできる機会として、学校と連携し、空き教室を活用した資料室設置について高く評価する。

展示については、時代背景など学習とリンクしたわかりやすい説明表示を検討して欲しい。

今後、旧開拓郷土館に残された収蔵品の有効な活用について、継続した検討をお願いする。

3 歴史ボランティアガイドの養成と活動支援

140年の歴史を継承するため、歴史ボランティアと協力した伝承活動や歴史ガイド等の推進活動状況の広報などの支援をお願いする。

4 白樺コミュニティーセンターの一部改修の実施

利用しやすい施設整備のため、今後とも施設の維持保全に努めて欲しい。

耐震化についても、財政面での難しさはあると思うが、できるだけ早い時期での取組をお願いする。

5 社会教育施設内における展示スペースの整備

文化活動は人の心を豊かにするものであり、その発表の場を確保することが必要である。

各施設における展示スペースの整備を図り、広く町民に周知しながら活用の促進をお願いする。

(4) スポーツ活動の振興について

1 体育指導委員との連携によるニュースポーツ紹介事業の推進

体力向上、健康増進のためのスポーツ活動の推進をお願いします。
ニュースポーツの普及についても、体育指導委員と連携し、町民に周知するとともに用具の貸し出しなどの取組を推進して欲しい。

2 子どもスポーツ事業の実施

子どものさまざまなスポーツ体験は、貴重な機会と考える。
さまざまなネットワークを通じて指導者を発掘し、効果的な取組を期待する。
スポーツ教室の開催など少年団への支援も検討して欲しい。

3 総合型地域スポーツクラブ設立に向けた支援

総合型地域スポーツクラブが安定して自主的に活動できる支援を継続して欲しい。
さまざまな媒体を通じた広報活動が望ましい。

4 当別小学校水泳プール改修工事の実施

利用者安全確保のためのプール改修工事実施は高く評価する。
安全確保のため、今後とも定期的な点検をお願いします。

< 資 料 >

1 教育委員会委員名簿

(平成21年度在籍)

職 名	氏 名	任 期	委員就任年月日
委 員 長	大 澤 勉	H 20.10. 1 ～ H 24. 9.30	S 63.10. 1
委員長職務代理者	高 橋 嘉 弘	H 18.10. 1 ～ H 22. 9.30	H 2.10. 1
委 員	白 井 応 隆	H 20.10.20 ～ H 24.10.19	H 12.10.20
委 員	大 東 映 子	H 19.12.15 ～ H 23.12.14	H 19.12.15
教 育 長	高 橋 義	H 17.10. 1 ～ H 21. 9.30	H 13.10. 1
教 育 長	山 内 秀 治	H 21.10. 1 ～ H 25. 9.30	H 21.10. 1

2 平成21年度教育予算編成の概要

I はじめに

平成21年度教育予算についての基本的な考え方と予算編成の概要を申し述べ、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今日、厳しい経済危機の中、また激しい社会変化の状況にあって、子どもたちが、未来を切り拓き、心豊かでたくましく生きる力を身につけていくために、学ぶ意欲と学力・体力の向上、規範意識や倫理観の醸成、生涯学習においても、自己の向上を図り、生きがいの持てる生涯学習の充実、青少年の健全育成のための条件整備や家庭・地域の教育力の向上など、様々な教育課題が山積する社会となっております。

こうした課題を踏まえ、当別町における教育行政を進めるにあたり、新年度からスタートする「第3次当別町生涯学習推進計画」を着実に推進するとともに、人と人とのふれあいやネットワークから生まれる知恵や工夫、刺激や創造、連携や協力などにより、活力と潤いのある確かな教育が展開できるよう、「ふれあい、かかわり合いの教育」を基本姿勢として教育行政を推進して参ります。

このような基本姿勢のもと、教育に関わる諸課題と教育改革の方向性を明確にしつつ、学校支援地域本部事業など関係機関や団体、地域住民との連携の充実、教育委員会や学校教育の点検・評価による活性化、今日的課題に向けた学社連携・学社融合による迅速かつ機能的な対応、学びの充実を図る社会教育事業の改善などに努めて参ります。

また、施策の効果的推進のため、町民への積極的な情報提供に努めるとともに、教育施設の有効活用や地域の人材活用など、教育資源の掘り起こしや活用に努めて参ります。

II 教育行政施策と予算編成の概要

次に、平成21年度における主な教育行政に関する施策と予算編成の概要について申し上げます。

1 学校教育の推進

学校教育において、未来を力強く切り拓く力を育むため、「学力・体力の向上」や「規範意識や思いやりの心」の育みを一層充実することが期待されており、そのための教育活動や家庭との連携などの工夫・改善、条件整備などが求められております。

このため、児童生徒の実態把握に基づく教育活動の改善や学校評価を生かした学校経営と運営、地域人材の活用による教育活動の充実を努めて参ります。

また、学力・体力の向上、いじめや生徒指導など、多様な課題に対応するため、幼・小・中学校の連携充実、学校教育と社会教育の一体的取り組みとともに、新たに学校教育指導員を配置し、学校への相談・支援体制や調査・統計による児童生徒の実態分析を強化・充実して参ります。

さらに、2年後に本格実施が始まる新学習指導要領の着実な実施に向けた準備を進めて参ります。

(1) 幼稚園教育の推進

幼小連携のための小学校との交流や、家庭との連携のための教育相談機能の充実を図って参ります。

また、平成23年度からの民営化に向けて、関係者への理解活動や協議などの条件整備を図って参ります。

(2) 小中学校教育の推進

(確かな学力・体力の向上について)

全国学力・学習状況調査の継続実施とともに、新たに「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施し、実態把握と分析、改善方策の確実な取り組みを働きかけて参ります。

また、新学習指導要領で5、6年生での必修が計画されている小学校外国語活動への対応として、英語指導助手の指導時間数増を図って参ります。

さらに、実践力向上のため、当別町学校教育研究推進協議会との連携による学校指定研究や、教職員の長期休業中の研修機会の拡充を進めて参ります。

(豊かな心の育成について)

ボランティア活動による人と人との結びつきの体験、現場実習を取り入れたキャリア教育の拡充を図るとともに、平成20年度に北海道教育委員会から指定された食育実践研究事業の成果を生かした食育指導の実践や、地域と結びついた地場産食材の活用に取り組んで参ります。

また、いじめなどの問題の解消や児童生徒の悩みに応えるため、計画的、継続的な実態把握と指導を進めるとともに、学校教育指導員と少年指導センター指導員との連携による教育相談体制の充実に努めて参ります。

さらに、学習状況調査結果を活用した家庭学習の習慣化や、規律ある生活習慣の確立に向けた保護者との連携・協力を働きかけて参ります。

(開かれた学校の推進と教育活動の改善について)

学校関係者評価の工夫・改善とともに、学校だより、ホームページの拡充などの取り組みを進めて参ります。

また、小中一貫した学習や生徒指導等を推進していくため、指導内容の継続性の検討や教育活動の小中連携等を充実させていくとともに、特別支援教育における養護学校や関係機関からの支援・連携体制の整備充実を図って参ります。

さらに、大学生や学校支援地域本部事業などによる地域人材の活用により、学校支援の充実に努めて参ります。

(教育環境・施設整備の充実について)

地域防犯連合会や関係機関、団体との情報共有や一体的活動などによる安全・安心の取り組みを推進して参ります。

また、各学校の耐震診断調査を実施するとともに、必要な耐震化に向けた実施設計に取り組んで参ります。

さらに、スクールバス運行につきましては、通学の利便性確保のため、スクールバス運行地区の中学生乗車や川下地区の通年運行を図るとともに、スクールバス運行地区における地域住民の交通手段を補完するため、平成20年度に引き続き一般混乗を試験的に実施して参ります。

2 社会教育の推進

大きな社会変化や科学技術の進展の状況にあって、町民一人ひとりが、生涯にわたって自ら学習機会を選択し、主体的に学び続けることができる条件づくり、青少年の健全な成長のため、家庭や地域の教育力の向上と青少年の健全育成の環境づくりが重要になってきております。

これらの課題に対応するため、町民や北海道医療大学の人材、環境等の学習資源の活用や社会教育施設の有効活用による社会教育事業を推進するとともに、青少年健全育成のため、社会教育関係団体の支援による地域活動の推進や学校との連携、家庭教育の充実に関わる事業の展開など、家庭や地域の教育力の向上に向けた取り組みを進めて参ります。

(家庭と地域の教育力の向上について)

絵本を通しての「心のふれあい推進事業」や父親参加事業など、家庭教育関係事業の拡充を図っていくとともに、規律ある生活、基本的な生活習慣の確立のため、「早寝早起き朝ごはん」運動などを関係機関、団体との連携により進めて参ります。

また、「学校支援地域本部事業」推進のための、学校の支援希望調査や地域人材の発掘、登録などの

取り組みを進めて参ります。

さらに、町民が興味・関心をもって参加できる「町民自主企画講座」や北海道医療大学との連携による「当別学講座」の開催を進めるとともに、地域人材を活用した人材バンク登録の拡大を図り、出前講座「とうべつ知恵袋」の開催増加の働きかけを進めて参ります。

（青少年教育の推進について）

少年指導センターと学校との連携強化、指導機関、関係機関との情報共有や連携強化による巡回指導の充実などに努めるとともに、インターネット上の被害及び加害防止のため、ネット巡回を強化して参ります。

また、町内会や子ども会との連携、ジュニアリーダーの運営協力による通学合宿事業を継続実施して参ります。

（文化・芸術活動の推進について）

読書週間の設定や絵本の読み聞かせ事業の実施、施設関係情報の充実などにより、図書室の利用促進を図って参ります。

また、開拓郷土館の資料を活用し、小学校に郷土資料室を新たに設け、郷土の歴史学習に役立てる取り組みを進めるほか、伊達記念館・伊達邸別館の展示品の配置換え、古文書の整理等における歴史ボランティアの関わり合いの強化、ボランティアガイドの養成と活動支援を行って参ります。

さらに、平成20年度補正予算の繰越事業として、白樺コミュニティセンターの多目的ホール床張替など一部改修を実施するとともに、社会教育施設内における展示スペースの整備を進めて参ります。

（スポーツ活動の振興について）

体育指導委員との連携を図りながら、町民のニーズ・興味に応じたニュースポーツの紹介事業を推進するとともに、子どもの体力・運動機能の向上を目指し、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ指導者との連携による子どもスポーツ事業を実施して参ります。

また、幅広い年代層が多種目のスポーツに親しみ、指導を受けることのできる総合型地域スポーツクラブの本格的設立に向けた会員増加及び事業運営の支援を行って参ります。

さらに、平成20年度補正予算の繰越事業として当別小学校プールの屋根改修工事を実施して参ります。

Ⅲ むすび

以上、教育行政にあたっての施策及び予算編成の主なものについて申し上げました。

教育に関わる課題が山積し、これまでの仕組みや施策の在り方が大きく見直されようとしている今日、改善に向けた速やかな取り組みとともに、今日的課題の解決に向けた工夫・改善を着実に進めるため、関係機関と連携しながら教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

3 平成21年度教育予算及び決算状況

(単位：円)

項	目	予 算 額	決 算 額
1 教育総務費	1 教育委員会費	1,888,000	1,872,698
	2 事務局費	4,535,000	4,233,561
	3 教育振興費	22,482,000	21,989,307
	4 スクールバス運営費	39,613,000	39,597,577
	5 学校給食費	59,976,000	57,458,699
	6 施設費	14,255,000	14,220,764
	小 計	142,749,000	139,372,606
2 小学校費	1 学校管理費	45,444,000	43,569,560
	2 教育振興費	45,091,000	42,494,579
	3 施設費	199,257,000	16,305,416
	小 計	289,792,000	102,369,555
3 中学校費	1 学校管理費	47,908,000	45,058,499
	2 教育振興費	40,410,000	38,044,884
	3 施設費	188,450,000	15,317,190
	小 計	276,768,000	98,420,573
4 幼稚園費	1 幼稚園管理費	18,799,000	17,331,489
	2 施設費	20,644,000	20,617,332
	小 計	39,443,000	37,948,821
5 社会教育費	1 社会教育総務費	4,971,000	4,891,081
	2 社会教育施設費	38,177,000	37,519,558
	3 文化財保護費	5,345,000	4,581,399
	4 指導センター費	4,445,000	4,413,863
	5 青少年費	997,000	977,308
	小 計	53,935,000	52,383,209
6 保健体育費	1 保健体育総務費	4,151,000	4,019,829
	2 プール運営費	6,868,000	6,575,335
	3 総合体育館費	19,297,000	19,149,311
	小 計	30,316,000	29,744,475
教 育 費 合 計		833,003,000	460,239,239